

採択理由

プログラム名：先端融合領域イノベーション創出拠点の形成
課題名：光ネットワーク超低エネルギー化技術拠点
代表者名：吉川 弘之
所属機関名：（独）産業技術総合研究所

コメント

通信放送融合時代において、直面する問題として意識されている通信速度の高速化と通信制御装置の低エネルギー化に取り組むもので、持続可能な社会を考える上で、技術的・社会的な要請の高い研究テーマであると評価された。デバイス基盤技術とシステム技術（ネットワーク・アプリケーション・インターフェース技術）の融合という垂直融合型の先端融合領域であり、現在の IP ネットワークに加えて、回線交換型の光ネットワークを構築することにより、大容量高精細映像コンテンツの高品質配信を可能とし、合わせて光スイッチによりネットワーク制御機器の超低消費電力化を図るものである。光パスネットワーク技術の確立はオリジナリティーが高いと評価された。同様な提案は国内外に無く、日本が世界をリードできる可能性があるかと期待された。

ただし、IP ネットワークとの共存システムである点も踏まえ、総合的な低消費電力化への寄与を考慮しながら進めていただきたい。また、通信分野の速い技術進歩に対応し、デバイスとシステムの技術進歩の乖離や社会情勢等の変化に対して、計画を臨機応変に見直すなど柔軟に対応すること、協働機関との連携において事業化を担う機関を早期に明確化すること、国際的な波及効果が大きいネットワーク技術であり国際連携を図りながら進めること、などに留意して進めていただきたい。システムからデバイスまで俯瞰できる人材を育成するために技術レイヤー間の異動は一つの有効策であるが、実効あるものとしていただきたい。

【採択条件】

システム技術に関する 3 年目、7 年目の目標をより明確にミッションステートメントに記載すること、また、人材育成に関して、ミッションステートメント（特に第 2、3、4、5、6 項）に適宜記載すること。